

田布施町名誉町民に 吹田 愷 氏を推戴



11月3日、田布施町合併60周年記念式典において、吹田愷氏に名誉町民の称号と名誉町民章が授与されました。

吹田氏は、25歳で城南村長に就任。昭和30年1月、田布施町合併に伴う町長選に出馬し27歳で当選、初代町長として2期にわたり新生田布施町発展の礎を築かれました。

その後、昭和38年から4期、山口県議会議員をつとめられ、昭和50年に県議会議長に就任、県勢発展にも多大な貢献をされました。

昭和54年、衆議院議員総選挙で当選、平成2年には自治大臣兼国家公安委員会委員長として初入閣。平成8年に衆議院議員を辞職されるまで、永きにわたり、国、山口県および田布施町の発展に寄与されました。

その後も全国土地改良事業団体連合会副会長および山口県土地改良事業団体連合会会長などの要職を歴任され、念願であった南周防地区の国営ほ場整備事業の実現に尽力されています。

◇略歴

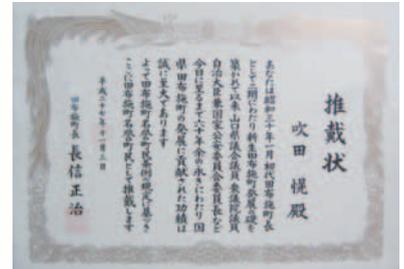
(1) 功績

昭和27年9月	城南村長就任
昭和30年1月	田布施町長就任
昭和38年4月	山口県議会議員就任
昭和47年3月	山口県土地改良事業団体連合会会長就任「現役職」
昭和50年5月	山口県議会議長に就任
昭和54年10月	衆議院議員当選
昭和62年4月	全国土地改良事業団体連合会理事就任
平成2年12月	自治大臣兼国家公安委員会委員長として初入閣
平成3年9月	全国土地改良事業団体連合会副会長就任
平成27年4月	全国土地改良事業団体連合会理事就任「現役職」

(2) 賞

昭和42年11月	山口県知事表彰（地方自治功労）
昭和48年10月	全国都道府県議会議長会表彰（地方自治功労）
平成12年11月	勲一等瑞宝章受章

名誉町民章



これまでの田布施町名誉町民（推戴順に掲載）



〔昭和37年11月23日推戴〕

佐藤 寛造
(1879～1970)

明治35年に無医村であった地元を開業し、60余年にわたり、医療と衛生思想の普及につとめ、広く地域における社会福祉の増進に貢献される。



〔昭和42年12月30日推戴〕

北村 サヨ
(1900～1967)

昭和17年頃から信仰の道、平和な新しい国づくりを説かれ、海外へも田布施町の名声をひろげられる。



〔昭和50年6月3日推戴〕

佐藤 榮作
(1901～1975)

昭和39年内閣総理大臣に就任後、7年8カ月の永きにわたり、最高責任者として国政に携わり、世界平和に貢献される。昭和49年にはノーベル平和賞を受賞。



〔昭和58年9月20日推戴〕

岸 信介
(1896～1987)

衆議院議員として30年の永きにわたり、国政の重責を担われる。その間、3年5カ月、内閣総理大臣として、新しい日米関係を樹立するなど、歴史的な業績を残された。



〔平成25年8月6日推戴〕

木村 貞明
(1924～2013)

昭和31年田布施町議会議員として、大晃機械工業株式会社の誘致に貢献され、同社を日本屈指の船舶・陸上用ポンプメーカーに成長させ、田布施町の産業振興に貢献される。